

V-1

Artek とイケア—「北欧デザイン」とは何なのか (1)

今回の資料のタイトルは「Artek とイケア①—「北欧デザイン」とは何なのか」としましたが、私はデザインのことはほぼ何もわかりません。ただ、フィンランド語を勉強する中で、muotoilu と suunnittelu という二つの語がどちらも「デザイン」という言葉に相当することがずっと気にかかっていました。そして Helsingin Sanomat という新聞に掲載された 2023 年 1 月 10 日の記事を読み、この問題について考えるヒントのようなものを与えられました（この記事は、次の V-2 の資料の中でじっくり読んでいくつもりです）。それをきっかけに「デザイン」とは何なのかを私なりに考えようとするのが、今回と次回の資料になります。ですので、家具やガラス製品の「形」や「色」などについて議論するわけではありません。

まず今回の資料では Alvar Aalto のデザインした製品を中心に販売する企業である Artek と、皆さんよくご存じのイケアについて見ていくことにします。そして、次回の資料では両社の jakkara「腰かけ」を真っ二つに切断し比較をしていくという記事を中心に検討し、最終的には「デザイン」と持続可能な発展といった考え方との関係などについても考えたいと思っています。なお、『フィンランド語の世界を読む』15 課でデザインの問題も取り上げていますので、とくに Alvar Aalto についての文章はぜひ読んでください。

なお、話の中心になるのが jakkara ですが、これは背もたれや肘かけなどのついていない椅子を意味します（日本では学校の理科室や調理室などに jakkara があるかもしれません）。この資料の中では jakkara は「腰かけ」と訳すことにします。

それでは、まずはフィンランドの建築家・デザイナーである Alvar Aalto の作品を中心に販売する Artek 社について、簡単に見ていきましょう。

【1】Aalto の作品がない場所などない

Aallon kädenjälki on suomalaisille tuttu käyttöesineistä, huonekaluista ja arkkitehtuurista. Suomessa ei liene montaakaan kotia, josta ei löytyisi jotakin Aallon suunnittelemaa esinettä. Aallon suunnittelema jakkara, nojatuoli, ritiläpenkki tai kaarevajakainen pöytä on löytänyt tiensä koteihin ja työpaikoille.

■ 語句・文法

Alvar Aalto (1898-1976) はフィンランドの建築家・デザイナー（『フィンランド語の世界を読む』15 課の 6、7、8 のテキストを参照）／käden-jälki「手の跡、痕跡、特徴」（ここでは Aalto の作品のことをさすのだと思います）／käyttö-esineistä「実用品について、実用品によって」[複出]< -esine (tuttu「なじみがある」、kuuluista「有名な」などとは出格の語が結びついて「～によって、～について」といった意味を表します)／huone-kaluista「家具について、家具によって」[複出]< -kalu／arkkitehtuurista「建築について、建築によって」[出]< arkkitehtuuri／ei liene「ないかもしれない」[可]単 3 現否 < olla／montaa「多くの」[分]< moni。moni の分格は本来であれが monta です

が、さらに分格語尾 -a を付加した montaa という形も monta と並んで使われるようです / josta 「そこから」 [出] < joka / ei löytyisi 「見つからないだろう」 [条] 単 3 現否 < löytyä / jotakin 「何らかの」 [分] < jokin / suunnittelemaa 「デザインしたような」 [分] < suunnittelema 動分 < suunnitella / jakkara 「腰かけ、スツール (背もたれや肘かけのない椅子)」 / ritilä 「格子」 (ritilä-penkki 「座面が格子状になっているベンチ」) / kaareva-jalkainen 「曲がった脚の、猫脚の」 (kaareva < kaari)

●フィンランド語理解のための訳例

Aalto の | 手の跡は | フィンランド人にはなじみがある | 実用品により、 | 家具により | そして | 建築により。フィンランドでは | ないかもしれない | 多くの | 家庭は、 | そこからは | 見つからない | 何らかの | Aalto の | デザインしたような | 品物が。Aalto の | デザインしたような | 腰かけ、 | 背もたれのある椅子、 | 格子状のベンチ | あるいは | 曲線の脚をもつ | テーブルは | みつけてきた | 自らの道を | 家庭の中へ | そして | 職場の中へ。

◎意訳

Aalto の手による作品は実用品、家具、そして建築によりフィンランド人たちにとってはなじみのあるものとなっている。フィンランドには、Aalto のデザインした品物がみつからないような家庭はそう多くはないかもしれない。Aalto のデザインした腰かけ、背もたれのある椅子、格子状の座面をもつベンチ、あるいは曲線の脚をもつテーブルは家庭や職場へと進出している。

★補足

Artek はおもに Alvar Aalto がデザインした家具を販売することを目的に、1935 年に次の四人によって設立された企業です。

Alvar Aalto (1898-1976) 建築家、デザイナー

Aino Aalto (1894-1949) 建築家、デザイナー

Maire Gullichsen (1907-1990) 実業家、芸術支援家 (メセナ)

Nils-Gustav Hahl (1904-1941) 芸術史研究者、批評家 (継続戦争で戦死)

Artek はスウェーデンの投資会社へ売却され、その後はスイスの企業に買収されているようです。

【2】Artek とは「芸術」と「技術」の融合

Nimi Artek tulee sanoista art (taide) ja teknologia. Näillä käsitteillä on olennainen rooli modernismin kansainvälisessä liikkeessä, joka nousi esiin 1920-luvulla. Tunnukslauseen 'art and technology – a new unity' keksi Walter Gropius, yksi modernismin näkyvimmistä puolestapuhujista. Tieteen ja teollisten tuotantomenetelmien katsottiin kuuluvan tekniikan piiriin, ja taiteeseen lukeutuivat kuvataide, arkkitehtuuri ja muotoilu. Modernismin tavoitteena oli yhdistää nämä osa-alueet tuloksekkaalla tavalla. Sama pyrkimys ohjasi Artekin perustajia heidän nimetessä yritystään.

■ 語句・文法

Artekはそもそも Alvar Aalto がデザインした家具を販売する目的で1935年に設立された企業だが、他のデザイナーたちの作品も扱っている。/näillä käsitteillä「これらの概念には」[複接]< tämä käsite/olennainen「本質的な」< olla/modernismin「モダニズムの」[属]< modernismi(「モダニズム」とは20世紀以降に起こった考え方・運動で、芸術についていえば伝統にとらわれることなく現代的な新しさを求めるような動きだといえます。)/kansain-välisessä liikkeessä「国際的な運動において」[内]< kansain-välinen liike/nousi esiin「立ち上がった、登場した」(nousi 単3過< nousta)/tunnus-lauseen「スローガンを、うたい文句を」[属対]< lause< lausua/keksi「考えついた、発明した」単3過< keksiä/Walter Gropius「ヴァルター・グロピウス」(1883-1969)はモダニズムを代表するドイツの建築家だそうです。/näkyvimmästä「もっともよく見えるような、もっとも目立つような」[複出]< näkyvä 能現分< näkyä/puolesta-puhujista「擁護者たちのうち、提唱者たちのうち」[複出]< -puhujia< puhua(puolesta[出]< puoli)/tieteen「科学の」[属]< tiede< tietää/teollisten tuotanto-menetelmien「工業(的)生産方式の」[複属]< teollinen tuotanto-menetelmä/(tieteen ja teollisten tuotanto-menetelmien) katsottiin kuuluvan「(科学と工業生産方式は)属するとみなされた」(katsottiin 受過< katsoa, kuuluvan[属]< kuuluva 能現分< kuulua)[分構]/tekniikan「工学の、技術の」[属]< tekniikka/piiriin「領域へ、圏内へ」[入]< piiri/taiteeseen「芸術へ」[入]< taide< taitaa/lukeutuivat「含まれた、数えられた」単3過< lukeutua< lukea/kuva-taide「視覚芸術、絵画」/muotoilu「デザイン(外形を与えること、形を考え出すこと)」/tavoitteena「目的として、目標として」[様]< tavoite< tavoittaa/yhdistää「結びつける」< yksi/osa-alueet「分野を」[複主対]< -alue/tuloksekkaalla tavalla「成果の上がる方法で、生産的な方法で」[接]< tuloksekas tapa(tuloksekas< tulos< tulla)/pyrkimys「試みは、努力は」< pyrkiä/ohjasi「導いた」単3過< ohjata/perustajia「設立者たちを」[複分]< perustaja< perustaa(前の「★補足」に挙げた四人のことをさします)/nimetessä「名づけるときに」e 不[内]< nimetä[時構]/yrittystään「自らの企業を/に」[分]+ 複3所接< yritys

● フィンランド語理解のための訳例

名称は|Artek|来ている|語から|art(芸術)|そして|科学技術。これらの概念には|ある|本質的な|役割が|モダニズムの|国際的な|運動において、|それは|上がった|前へ|1920年代に。スローガンを|「芸術と科学技術—新しい統一」|考えついた|ヴァルター・グロピウスが、|[一人|モダニズムの|もっとも目立つような|擁護者たちのうち]。科学の|そして|工業的な|生産方法の|みなされた|属するのだと|技術の|領域へ、|そして|芸術へ|数えられた|視覚芸術は、|建築は|そして|デザインは。モダニズムの|目的として|あった|結びつけることが|これらの|分野を|成果の上がるような|方法により。同じ|試みは|導いた|Artekの|設立者たちを|[彼らの|名づけるときに|自らの企業を]。

◎ 意識

Artek という名称は芸術を意味する「art」と「科学技術(テクノロジー)」という語からできている。

これら二つの概念は、1920年代に登場したモダニズムの国際的な運動において本質的な役割を担っていた。「芸術と科学技術—新たな統一」というスローガンは、もっとも有名なモダニズムの提唱者の一人であるヴァルター・グロピウスが考え出したものだった。科学と工業的な生産方式とは技術の分野に属するものだとみなされており、絵画をはじめとする視覚芸術、建築、そしてデザインなどは芸術に含まれるとされていた。モダニズムの目標は、これら〈科学や工業的な生産方式と芸術〉の分野を成果の上がる形で結びつけることにあった。Artek の設立者たちが自らの企業を名づける際にも、同じ志が彼らを導いていたのである。

【3】Artek は芸術を日常へと結びつける

Artekin manifesti eli perustamiskirja kertoo yrityksen neljän perustajan vision. Vaikka ensisijaisena tarkoituksena oli ammatillistaa Aallon suunnittelutöiden kansainvälinen jakelu, perustamiskirjassa ilmaistaan myös Artekin kaupallisuuden ylittävä kulttuurinen missio. Yksi sen otsikoista Modern Art, Industry and Interior Design, Propaganda kertoo yksiselitteisesti Artekin tavoitteista: yhdistää taide arkeen, tuoda modernismi Suomeen ja viedä Alvar Aallon **pohjoismainen pohjoismaista** käsitystä näistä periaatteista maailmalle.

■ 語句・文法

manifesti「宣言(書)、声明(文)」/perustamis-kirja「設立趣意書」/ensi-sijaisena tarkoituksena「第一の目的として」[様]<ensi-sijainen tarkoitus/ammatillistaa「職業化する」<ammatillinen <ammatti/suunnittelu-töiden「デザイン作品の」[複属]<-työ/jakelu「分配、流通、販売」<jaella <jakaa/ilmaistaan「表明される」受現 <ilmaista/kaupallisuuden ylittävä「商業主義を超えるような」(kaupallisuuden[属]<kaupallisuus <kaupallinen <kauppa, ylittävä 能現分 <ylittää <yli) /missio「使命、ミッション」/otsikoista「タイトルのうち」[複出]<otsikko/yksi-selitteisesti「端的に、明確に」[副]<-selitteinen/arkeen「日常へ」[入]<arki/本文では pohjoismainen とありますが、おそらく pohjoismaista と分格になっているべきだと思います/pohjoismaista käsitystä「北歐的な理解を」[分]<pohjoismainen käsitys/näistä periaatteista「これらの原則について」[複出] <tämä periaate

● フィンランド語理解のための訳例

Artek の|宣言書は|つまり|設立趣意書は|語る|企業の|4人の|設立者の|展望を。〈次のよう〉
[だが|第一の|目的として|あった|職業化することが|Aaltoの|デザイン作品の|国際的な|流通を]、|設立趣意書において|表明されている|また|Artekの|商業主義の|超えるような|文化的な|使命を。一つは|その|タイトルのうち|「現代芸術、工業とインテリアデザイン、プロパガンダ」|語る|端的に|Artekの|目的について:|[結びつけること|芸術を|日常へ]、|[もってこること|モダニズムを|フィンランドへ]|そして|[もっていくこと|Alvar Aaltoの|北歐的な|理解を|これらの|原則について|世界へ]。

◎意訳

Artek の宣言書、つまり設立趣意書は、その 4 人の設立者たちの展望を物語っている。第一の目的は Aalto がデザインした作品の国際的な流通を専門に行うことではあったが、設立趣意書においてはまた商業主義を超えたところにある文化的な使命といったことも表明されている。設立趣意書の中の章題の一つである「現代芸術、工業とインテリアデザイン、プロパガンダ」が Artek の目的について端的に語っている：〈それは〉芸術を日常と結びつけること、モダニズムをフィンランドへもたらすこと、そして、これら原則について Aalto が抱く北歐的な理解を世界へ伝えること〈である〉。

★補足

Artek には Artek Tokyo という直営店が渋谷区にあるようです。また、日本語のホームページもあります (<https://www.artek.fi/jp/>)。動画などもあるので、ぜひ見てください。

それではイケアの話へ移っていきます。

【4】世界最大のインテリアブランド「イケア」

Ruotsalainen Ikea taas on maailman kenties tunnetuin kodinsisustusbrändi. Suomessakin se on suurin niin myymälöiden koossa kuin myynnissä: viime vuonna huonekalujätin liikevaihto oli Suomessa yli 370 miljoonaa euroa.

■ 語句・文法

taas「一方」／kenties「おそらく」／tunnetuin「もっとも知られた、もっとも有名な」最 < tunnettu 受過分 < tuntea／kodin-sisustus-brändi「家庭インテリアブランド、ホームインテリア企業」／niin ~ kuin ... 「～も... も、... と同様に～も」／myymälöiden koossa「販売店の大きさにおいて」(myymälöiden[複属] < myymälä < myydä, koossa[内] < koko)／myynnissä「販売において、売り上げにおいて」[内] < myynti < myydä／huone-kalu-jätin「家具(販売の)巨人の、家具(販売)大手の」(jätin[属] < jätti = jättiläinen)／liike-vaihto「売上高、取引高」

● フィンランド語理解のための訳例

スウェーデンの|イケアは|一方|である|世界の|おそらく|もっとも知られた|家庭インテリアブランド。フィンランドにおいても|それは|最大である|店舗の大きさにおいても|販売においても:|昨年|家具(販売の)巨人の|売上高は|であった|フィンランドにおいて|3億7千万ユーロを超えて。

◎意訳

一方、スウェーデンのイケアは、おそらく世界でもっとも有名な家庭用インテリア製品のブランドである。それはフィンランドにおいても、店舗面積、売上高ともに最大である:その「家具販売の巨人」のフィンランドにおける今年の売上高は 3 億 7 千万ユーロを超えている。

【5】「イケア」といえば青と黄色

Ikea onkin pyrkinyt kiillottamaan kuluttajien mielikuvia sinikeltaisesta logosta. Se on tehnyt yhteistyötä tunnettujen suunnittelijoiden ja brändien kanssa havitellen uusia asiakasryhmiä. Tuorein keihäänkärki on kumppanuus Marimekon kanssa.

■ 語句・文法

on-kin pyrkinyt kiillottamaan「磨こうとしてきた」(-kinはおそらく強調の働きをしており、「実際に」といった意味合いを表していると考えられます。kiillottamaan MA 不[入]<kiillottaa<kiilto<kiiltää) / kuluttajien「消費者たちの」[複属], kuluttaja<kuluttaa<kulua / mieli-kuvia「心象を、イメージを」[複分]<-kuva / sini-keltaisesta「青と黄色の」[出]<-keltainen / yhteis-työtä「共同作業を」[分]<-työ / tunnettujen「知られているような、有名な」[複属]<tunnettu 受過分<tuntea / suunnittelijoiden「デザイナーたちの」[複属]<suunnittelija<suunnitella / havitellen「追い求めながら」e 不[具]<havitella / asiakas-ryhmiä「顧客集団を」[複分]<-ryhmä / tuorein「最新の」最<tuore / keihään-kärki「槍の先端、槍の穂先、主力、主力製品」 / kumppanuus「提携」<kumppani

● フィンランド語理解のための訳例

イケアは|試みてきた|磨こうと|消費者たちの|イメージを|青と黄色の|ロゴについて。それは|してきた|共同作業を|よく知られたような|デザイナーたちの|そして|ブランドたちの|一緒に|追い求めながら|新しい|顧客集団を。最新の|主力は|である|提携|Marimekkoの|との。

◎ 意訳

イケアは〈自社の〉青と黄色のロゴに対する消費者たちのイメージを磨き上げようと努めてきた。イケアは新たな顧客を獲得することを夢見て、有名なデザイナーやブランドと協力してきた。もっとも最近の主力となっているのは Marimekko との提携である。

★ 補足

イケアはスウェーデンや北欧に対する肯定的なイメージを積極的に利用してきた企業のようなのです。そのイケアのロゴは青と黄色ですが、これはスウェーデンの国旗の色からきているのだと思います。

【6】フィンランドにはイケアの店舗は 5 軒

Suomessa on yhteensä viisi Ikea-tavarataloa. Ne sijaitsevat Espoossa, Vantaalla, Raisiossa, Tampereella ja Kuopiossa. Pelkästään Vantaan tavaratalossa on noin 500 työntekijää, ja heistä noin joka kolmas on töissä kerrallaan.

■ 語句・文法

yhteensä「全部で、合計すると」[入]+ 複 3 所接 <yksi / sijaitsevat「位置する」複 3 現 <sijaita <sija / pelkästään「ただ単に」[出]+ 単 3 所接 <pelkkä / joka kolmas「3分の1」 / kerrallaan「一度に」[接]+ 単 3 所接 <kerta

●フィンランド語理解のための訳例

フィンランドに|ある|全部で|5 つの|イケア百貨店が。それらは|位置している|Espoo に、Vantaa に、Raisio に、Tampere に、そして Kuopio に。ただ単に|Vanataa の|百貨店に|いる|約 500 の|労働者が、|そして|彼らのうち|約|3 分の 1 が|仕事をしている|一度に。

◎意訳

フィンランドにはイケアの店舗が全部で 5 軒ある。それらは Espoo、Vantaa、Raisio、Tampere、そして Kuopio にある。Vantaa の店舗だけでも約 500 名の労働者がおり、そのうち約 3 分の 1 が同時に勤務している。

★補足

すでに見た【4】【5】【6】、そして次の【7】をはじめ【10】【11】【12】【13】【14】【15】の記事は 2023 年のものです。記者がデザインの専門家二人とともに Vantaa にあるイケアの店舗を訪れ、その製品について考えるという内容です。その専門家二人の紹介をみておきましょう。

【7】「イケア」を探索する二人とは

Pänkäläinen, 59, on palkintoja pokannut kalustesuunnittelija ja Metropolia-ammattikorkeakoulun muotoilun opettaja, joka on suunnitellut niin huonekaluja kuin VR:n junanpenkkejä.

Anonen, 35, valittiin Vuoden nuoreksi muotoilijaksi vuonna 2021. Tuolloin raati kuvaili, että Anosen työt uudistavat suomalaista muotoilua. Hänet tunnetaan muun muassa Cocktail-valaisimestaan, ja tällä hetkellä Anonen suunnittelee näyttelyarkkitehtuuria Kiasman tulevaan Tom of Finland -näyttelyyn.

■語句・文法

palkintoja「賞を」[複分]<palkinto<palkita/pokannut「手に入れたような」能過分 <pokata(本来は「お辞儀をする」といった意味のようです) / kaluste-suunnittelija「家具デザイナー」(kaluste「家具、日用品」<kalustaa<kalu) / ammatti-korkea-koulun「専門職大学の、ポリテクニクの」[属]<-koulu/VR:n「VR の、国鉄の」(VR = valtion rauta-tiet) / junan-penkkejä「列車の座席を」[複分]<-penkki/valittiin「選ばれた」受過 <valita/nuoreksi muotoilijaksi「若いデザイナーとして、若いデザイナーへ」[変]<nuori muotoilija/raati「審査団、委員会」/kuvaili「描写した、述べた」単 3 過 <kuvailla<kuvata<kuva/uudistaa「革新する、刷新する」<uusi/tunnetaan「知られる」受現 <tuntea/muun muassa「なかでも、とりわけ」/Cocktail-valaisimestaan「(自らの)カクテルライトについて」[出]+ 単 3 所接 <-valaisin<valaista<valo/näyttely-arkkitehtuuria「展示場設計を、展示デザインを」/Kiasman「Kiasma<現代美術館」の」[属]<Kiasma = Nyky-taiteen museo Kiasma「現代美術館 Kiasma」(Helsinki の中心部にある 1998 年に開館された現代美術館) / tulevaan「来るべき」[入]<tuleva 能現分 <tulla/Tom of Finland (1920-1991) はフィンランドの画家で、同性愛者(ゲイ)を描いた画家として知られています/näyttelyyn「展示へ、展覧会へ」[入]

< näyttely < näytellä < näyttää < näkyä

●フィンランド語理解のための訳例

Pänkäläinen、|59 歳は|である|賞を|射止めてきた|家具デザイナー|そして|Metropolia 専門職大学の|デザインの|教員、|それは|デザインしてきた|家具を|そして|VR の座席を。

Anonen、|35 歳は|選ばれた|年間の|若い|デザイナーへ|2021 年に。そのとき|審査団は|描写した、|<次の> [ことを|Anonen の|作品は|刷新する|フィンランドの|デザインを]。彼女を|知られている|なかでも|(自らの)カクテルライトについて、|そして|この|瞬間に|Anonen は|計画する|展示場設計を|Kiasma の|来るべき|Tom of Finland-展へ。

◎意訳

Pänkäläinen (59 歳) はさまざまな賞を射止めてきた家具デザイナーであり、Metropolia 専門職大学のデザインの教員を務めているが、家具はもちろん VR の列車用座席などをデザインしてきた。

Ainonen (35 歳) は 2021 年に「今年の若手デザイナー」に選ばれたが、その際審査団は Anonen の作品はフィンランド・デザインを刷新するものであると評している。彼女はなかでも自らの作品である「カクテルライト」で知られており、現時点では現代美術館 Kiasma で開催される予定の「Tom of Finland 展」のために展示場設計を手がけている。

★補足

次の【8】【9】は 2022 年の記事ですが、やはり Vantaa にあるイケアの店舗を取材して書かれています。記事に登場する Joanna Karainen さんはイケアの markkina-aluejohtaja「市場地域リーダー、店舗が対象とする地域を管轄するリーダー」です。取材した記者が Karainen さんとともに店舗を歩いて回ります。

【8】客が錯覚を起こすことが重要

Astelemme yhdessä huonekalunäyttelyn alkuun. Huoneissa Karaisen mukaan näytetään ”suomalaisten unelmia realistisesti”. Graafikon valmistamat nuoliohjaukset pitävät huolen, että asiakas kulkee jokaisen tuotteen ohi. Illuusio, jonka ansiosta asiakas kokee tarvetta ostaa mahdollisimman paljon tuotteita, rakennetaan kovan työn tuloksena.

■語句・文法

astella「踏み入る、歩く、歩き回る」< astua / huone-kalu-näyttelyn「家具展示の」[属]< -näyttely / alkuun「始まりへ」[入]< alku < alkaa / näytetään「見せられる」受現 < näyttää / realistisesti「現実的に」[副]< realistinen / graafikon「グラフィック・アーティストの、グラフィック・デザイナーの」[属]< graafikko / valmistamat「作成したような」[複主]< valmistama 動分 < valmistaa < valmis / nuoli-ohjaukset「矢印の案内(表示)」[複主]< -ohjaus < ohjata / pitää huolen「世話をする、面倒を見る」 / illuusio「錯覚」 / jonka ansiosta「そのおかげで」(jotka [属] < joka) /

mahdollisimman「可能な限り、できるだけ」[属]=[副]< mahdollisin 最 < mahdollinen / rakennetaan「建てられる、作られる」受現 < rakentaa / tuloksena「結果として」[様]< tulos < tulla

●フィンランド語理解のための訳例

我々は踏み入る|一緒に|家具展示の|始まりへ。部屋では|Karainen の|よれば|見せられる|「フィンランド人たちの|夢を|現実的に」。グラフィック・アーティストの|作成したような|矢印案内が|世話を|する|<次の>[ことを|客は|通る|すべての|製品の|そばを]。錯覚は、|[その|おかげで|客は|経験する|必要性を|買うための|できるだけ|たくさん|製品を]、|作られる|激しい|仕事の|結果として。

◎意訳

私たちは一緒に家具の展示室へと足を踏み入れる。Karainen によれば、部屋の中では「フィンランド人たちの夢を現実のものとして」見せてくれる。グラフィック・デザイナーの制作した矢印の案内板が、客がすべての商品の横を確実に通り過ぎるようにしている。客はできるだけ多くの商品を購入する必要性を感じるよう錯覚を起こすが、その錯覚は大変な労力によって生み出されるのである。

【9】対象とする地域をよく調べて店舗は整備される

Ensiksi esimerkkihuone suunnitellaan vastaamaan markkina-alueen huoneiden kokoa. Huonekoko varmistetaan taustatutkimuksilla. Kotikäynneillä asiakkaat näyttävät kotejaan ja kertovat niiden ongelmakohdista.

Eri tavarataloissa on eri kokoiset huoneet. Raisiossa asuu enemmän lapsiperheitä omakotitaloissa, joten huoneetkin ovat isompia. Pääkaupunkiseudulla puolestaan huoneet vastaavat pitkälti kerrostaloasuntojen kokoja.

■語句・文法

esi-merkki-huone「見本となる部屋、サンプル・ルーム、展示室、モデル・ルーム」/ suunnitellaan「デザインされる、計画される」受現 < suunnitella / vastaamaan「応えるように、対応するように、相当するように」MA 不[入]< vastata / markkina-alueen「市場地域の、各店舗が対象とする地域の」[属]< -alue / kokoa「大きさに」[分]< koko / varmistetaan「確認される」受現 < varmistaa < varma / tausta-tutkimuksilla「背景調査により」[複接]< -tutkimus < tutkia / koti-käynneillä「家庭訪問で」[複接]< -käynti < käydä / kotejaan「(自らの)家庭を」[複分]+ 複 3 所接 < koti / ongelmakohdista「問題個所について、問題点について」[複出]< -kohta / kokoiset「~の大きさの」[複主]< kokoinen < koko / lapsi-perheitä「子どものいる家庭」[複分]< -perhe / oma-koti-taloissa「持ち家に、一軒家に」[複内]< -talo / isompia「より大きい」[複分]< isompi 比 < iso / puolestaan「一方で」/ vastaavat「相当する」複 3 現 < vastata / pitkälti「だいたいにおいて」< pitkä / kerrostalo-asuntojen「多層階住宅の、マンションの、アパートの、中高層住宅の」[複属]< -asunto < asua

●フィンランド語理解のための訳例

まず|見本となる部屋を|デザインされる|相当するように|市場地域の|部屋の|大きさに。部屋の大きさを|確認される|背景調査により。家庭訪問で|客たちは|見せる|自らの家庭を|そして|語る|それらの|問題個所について。

異なる|百貨店に|ある|異なる|大きさの|部屋が。Raisio には|住む|よりたくさん|子どものいる家庭が|一軒家に、|そのため|部屋も|より大きい。首都圏では|一方で|部屋は|相当する|だいたいにおいて|多層階住宅の|大きさに。

◎意訳

まず〈イケアの店舗における〉見本となる部屋は、その店舗が対象とする地域の部屋の大きさに対応するよう設計される。部屋の大きさは背景調査によって確認されるのである。家庭訪問の際に顧客たちは自らの家庭を見せ、それらの問題点について語ってくれる。

異なる店舗においては部屋の大きさも異なっている。Raisio では戸建て住宅に住む子どものいる家庭がより多いため、部屋もより大きなものとなっている。一方首都圏では、部屋はだいたいにおいて多層階住宅の大きさに対応するものとなっている。

★補足

イケアのそれぞれの店舗は、それが販売対象とする地域と人々の状況を詳しく調べたうえで、入念に設計・計画されているようです。そのような努力によって、客たちは「できるだけ多くの商品を購入する必要性を感じるよう錯覚」を起こすことになります。そのようなイケアについて【7】で登場した Anonen さんは次のようにいいます。

【10】イケアは時流にすばやく反応する

Anosen mukaan Ikea kykenee reagoimaan nopeasti trendeihin: se ei lanseeraa vain yhtä mallistoa vuodessa, vaan uutuuksia tulee ainakin pari kertaa vuodessa.

■語句・文法

kykenee「できる」単 3 現 < kyetä (+[入]~MA 不[入]) / reagoimaan「反応する」MA 不[入] < reagoida / trendeihin「流行へ、トレンドへ」[複入] < trendi / lanseerata「売り出す」 / yhtä「一つの」[分] < yksi / mallistoa「コレクションを」[分] < mallisto < malliuutuuksia「新製品は」[複分] < uutuus < uusi

●フィンランド語理解のための訳例

Anonen の|よれば|イケアは|できる|反応する|速く|流行へ:|それは|売り出さない|ただ|一つの|コレクション(商品群)を|一年に、|〈そうではなく〉新製品は|来る|少なくとも|2、3|回|一年に。

◎意訳

Anonen によればイケアは流行にすばやく反応することができる:〈そのため〉イケアは一年にただ一つのコレクションを売り出すのではなく、少なくとも年に2回から3回は新製品が売り出される。

★補足

次の文章は「イケアが非常に人気があるのはなぜか」という問いに対する Pänkäläinen さんと Anonen さんの考えです。

【11】イケアは価格も手ごろで面倒もない

Varmasti siksi, että täältä haetaan jotain ajankohtaista ja trendikästä sekä helppoja ja suoraviivaisia ratkaisuja arjen ongelmiin.

Hinnat houkuttavat, ja saman katon alta saa liki kaiken, mitä tarvitsee. Vaivattomasti yhdellä kerralla, ja littanaan pakatut ostokset mahtuvat yleensä henkilöautoon.

■ 語句・文法

varmasti「確実に」[副] < varma (この文には主語と述語動詞がありませんが、Se on「それは～である」が省略されていると考えられます。「それ」とは「なぜイケアの人気が高いのか」ということです。) / siksi, että「～だから」/ haetaan「求められる」受現 < hakea / jotain「何らかの」[分] < jokin / ajan-kohtaista「時代に合うような、現時点で重要な、現在注目されているような、タイムリーな」[分] < -kohtainen / trendikästä「流行の、トレンドとなっているような」[分] < trendikäs < trendi / suoraviivaisia「直線的な、わかりやすい」[複分] < -viivainen / ratkaisuja「解決(策)を」[複分] < ratkaisu < ratkaista / houkuttaa「誘い込む、ひきつける」= houkutella / liki「ほぼ」 / mitä「それを」[分] < mikä (この mitä は直前の kaiken を受ける関係代名詞) / vaivattomasti「面倒なく」[副] < vaivaton < vaiva / yhdellä kerralla「一回で」[接] < yksi kerta / littanaan「平らに」[入] < littana / pakatut「梱包されたような」[複主] < pakattu 受過分 < pakata / ostokset「買い物は」[複主] < ostos < ostaa / mahtua「入る、収まる」 / henkilö-autoon「自家用車へ」[入] < -auto

● フィンランド語理解のための訳例

確実に|〈次のよう〉[だから|ここからは|求められる|何か|時代に合うものを|そして|流行のものを|さらに|簡単な|そして|わかりやすい|解決策を|日常の|問題へ。

値段は|誘惑する、|そして|同じ|屋根の|下から|手に入れる|ほぼ|すべてを、|それを|必要とする。面倒なく|一回で、|そして|平へ|梱包されたような|買い物は|収まる|ふつう|自家用車へ。

◎ 意訳

〈イケアが非常に人気を博しているのは〉まちがいでなく、ここでは時代に合った流行のものが、そして日常生活の問題に対して簡単で分かりやすい解決策が求められるからである。

価格も誘惑的だし、必要とするほぼすべてものものを一つの屋根の下で手に入れることもできる。〈しかも〉何の面倒もなくたった一回の買い物で〈済ませられる〉、そして平たく梱包された買い物はふつう自家用車に収まりもする。

【12】イケアは人生の紆余曲折にうまく対応してくれる

Ikea vastaa hyvin elämän kierteisiin ja kaarteisiin. Elämäntilanteet saattavat vaihtua äkisti, jolloin Ikea tarjoaa nopean stressinlievityksen.

■ 語句・文法

kierteisiin「回転へ、スパイラルへ、変転へ」[複入]< kierre < kiertää/kaarteisiin「湾曲へ、カーブへ」[複入]< kaarre < kaartaa ⇒ kaari/elämän-tilanteet「生活状況は」[複主]< -tilanne/vaihtua「変わる、替わる」< vaihtaa/äkisti「急に」< äkki-/jolloin「そのときに」[関]/stressinlievityksen「ストレスの緩和を」[属対]< -lievitys < lievittää

● フィンランド語理解のための訳例

イケアは|応える|よく|人生の|変転へ|そして|曲折へ。生活の状況は|ありうる|変わる|突然に、|そのとき|イケアは|提供する|すばやい|ストレスの緩和を。

◎ 意訳

イケアは人生の紆余曲折というものにうまく対応してくれる。生活状況は突然変わることがあるが、そのときイケアは手っ取り早くストレスを和らげてくれる。

★ 補足

次の文章はイケアの kärry「ワゴン」に対する Pänkäläinen さんの評価です。その後の【14】【15】では、やはり Pänkäläinen さんがイケアの問題点を指摘します。

【13】その価格では材料さえ手に入らないはず？

Materiaali, kiinnitykset, lukittuvat renkaat. Kaikki vaikuttavat läpäisevän Pänkäläisen kriteerit. Vaan onpa kärryssäkin epäkohta: se on epäilyttävän halpa. ”Jos tällaisen piirtää ja käy kysymässä ammattihitsaajalta, että teetkö tällaisen 229 eurolla, hitsaaja nauraa pihalle. Hän ei saa materiaalejakaan siihen hintaan.

■ 語句・文法

kiinnitykset「留めること、接合すること」[複主]< kiinnitys < kiinnittää < kiinni/lukittuvat「ロックのかかるような、固定されるような」[複主]< lukittuva 能現分 < lukittua < lukita < lukko/renkaat「車輪、タイヤ」[複主]< rengas/vaikuttavat läpäisevän「通るようだ、合格するようだ」(läpäisevän [属]< läpäisevä 能現分 < läpäistä < läpi) [分構]/kriteerit「基準を」[複主対]< kriteeri/vaan「ただし」/kärryssä-kin「ワゴンの中にも」[内]+ -kin < kärry/epä-kohta「欠点、欠陥」/epäilyttävän「疑わしいほど」[属]=[副]< epäilyttävä 能現分 < epäilyttää < epäillä(分詞=形容詞の属格は、他の形容詞や副詞を修飾する副詞の役割を果たすことができます)/piirtää「(線で)描く、設計する、デザインする」/ammatti-hitsaajalta「プロの溶接工に」[奪]< -hitsaaja < hitsata/

nauraa pihalle「一笑にふす(庭へ向かった笑う)」／siihen hintaan「その値段で」[入]< se hinta

●フィンランド語理解のための訳例

材料、|留めること、|ロックのかかる車輪。すべては|ようだ|通過する|Pänkäläinen の|基準を。ただし|ある|ワゴンの中にも|欠点が:|それは|である|疑わしいほど|安い。「もし|このようなものを|設計する|そして|訪れる|尋ねるために|プロの溶接工に、|<次の> [ことを|あなたは作るか|このようなものを|229 ユーロで]、|溶接工は|笑う|庭へ」。溶接工は|得ない|材料さえ|その|値段で。

◎意訳

<ワゴンの>材料、部品どうしの溶接、ロックのかかる車輪。すべては Pänkäläinen の求める基準を満たしているようだ。ただし、ワゴンには気になる点もある:つまり、それは疑いを抱かせるほど安いのだ。このようなワゴンを設計し、プロの溶接工を訪ねて「こんなものを 229 ユーロで作ってくれるか」と聞こうとしたら、溶接工は一笑にふすだろう。その値段では、溶接工は材料さえも手に入れられないだろう。

【14】イケアでは、品質については「現時点では不明」?

Hänestä Ikean erityinen hankaluus on, että moni tuote on laadultaan kategoriassa nähtäväksi jää. Joillain brändeillä pitkän käyttöiän voi **astia aistia**. Ikealla pitkäikäisyys on hyvin mahdollista, mutta siitä ei Pänkäläisen mukaan ole samanlaisia takeita.

■語句・文法

hänestä「彼にしてみれば、彼の考えでは」[出]< hän/hankaluus「面倒、難しさ」< hankala/laadultaan「品質からすると、品質の点では」[奪]+ 単 3 所接 < laatu/kategoriassa「カテゴリーの中に、範疇の中に」[内]< kategoria/nähtäväksi jää「今後わかるだろう、現時点では不明である」(nähtäväksi[変]< nähtävä 受現分 < nähdä.jäädä nähtäväksi は直訳すれば「見られるように残るだろう」とともなるかもしれませんが、「今後わかるだろう、今後の課題だろう」などといった意味でよく使う表現です。)／joillain brändeillä「いくつかのブランドには、あるブランドには」[複接] < jokin brändi/käyttö-iän「使用年数を、耐用年数を」[属対]< -ikä/astia とありますが、おそらく aistia の誤りではないかと思います。aistia「感知する」／siitä「それについて」[出]< se/takeita「保証は」[複分]< tae < taata

●フィンランド語理解のための訳例

彼にしてみれば|イケアの|特別な|面倒は|である、|<次の> [ことが|多くの|製品は|である|品質からすると|カテゴリーの中に|「現時点では不明である」。ある|ブランドには|長い|耐用年数を|できる|感知する。イケアには|長寿が|である|とても|可能な、|しかし|それについて|ない|Pänkäläinen の|よれば|同じような|保証は。

◎意訳

Pänkäläinen からすれば、イケアに特有の困った点は、多くの製品が品質の点で「現時点では不明」というカテゴリーに属すということだ。〈イケア以外の〉ブランドによっては長い耐用年数を感じ取ることができるものもある。しかし、イケアの製品においても長い寿命は十分にありうることだろうが、それについて〈他のブランドと〉同様の保証はないと Pänkäläinen は考えている。

【15】イケアでは客も品物の耐久性など信じていない

Pänkäläinen kertoo, että Ikeassa häntä harmittaa se, että monet tuotteet ovat hyvin suunniteltuja mutta kehnosti tehtyjä. Moni kuluttaja voisi ostaa jonkin kalusteen mutta ei usko sen kestävyys, hän arvelee.

■語句・文法

harmittaa「悩ませる、困らせる、後悔させる」〔感使=感情使役動詞〕／se, että ~「～だということが」(この部分が文法上は主語)／suunniteltuja「デザインされたような」〔複分〕< suunniteltu 受過分 < suunnitella／kehnosti「下手に、まずく」〔副〕< kehno／tehtyjä「作られたような」〔複分〕< tehty 受過分 < tehdä／kestävyyteen「耐久性を」〔入〕< kestävyys < kestävä 能現分 < kestää／arvella「推測する、考える」< arvata

●フィンランド語理解のための訳例

Pänkäläinen は|語る、|〈次の〉[ことを|イケアで|彼を|悩ませ|〈次の〉ことが|多くの|製品は|]である|うまく|デザインされているような|しかし|下手に|作られているような]。多くの|消費者は|かもしれないだろう|買う|何らかの|家具を|しかし|信じない|その|耐久性を、|彼は|推測する。

◎意訳

イケアにおいては多くの製品がうまくデザインされているのに作りが悪いということが悩みの種だと Pänkäläinen は語っている。何らかの家具を購入するにしても、多くの消費者はその耐久性は信用していないと彼は考えている。

★補足

ここまで Artek とイケアについて簡単に見てきました。次は、イケアの問題点に関するフィンランドの新聞の記事などの抜粋を見ていくことにします。扱われる話題は①羽毛、②森林伐採、そして③デザインのコピーです。最初に見ていくのはイケアの製品で使われている羽毛に関する 2009 年の記事です。

【16】イケアは生きている鳥の羽をむしっていた

Ruotsalainen kalustusjätti Ikea myöntää lintujen elävänä höyhentämisen yhtiön tavarantoimittajien tehtailla Kiinassa.

■ 語句・文法

kalustus-jätti「家具（販売）の巨人、家具（販売）大手」／myöntää「認める」／elävänä「生きた状態で」[様]< elävä 能現分 < elää／höyhentämisen「羽をむしることを」[属対]höyhentäminen 動名 < höyhentää < höyhen／yhtiön「会社の」[属]< yhtiö < yksi／tavaran-toimittajien「（製品）供給者の、サプライヤーの」[複属]< -toimittaja < toimittaa／tehtailla「工場で」[複接]< tehdas ⇒ tehdä?

● フィンランド語理解のための訳例

スウェーデンの|家具（販売）大手|イケアは|認める|鳥の|生きた状態で|羽をむしることを|会社の|供給業者の|工場において|中国で。

◎ 意訳

スウェーデンの家具販売大手イケアは、自社の中国における供給業者である工場で生きた鳥の羽をむしっていることを認める。

【17】イケアの代表者も認めたとスウェーデンの TV4 は報じている

Ruotsin TV4 kertoo, että Ikean edustaja myönsi asian sunnuntaina yhtiön omien tutkimusten jälkeen. TV4 kertoo, että Ikean kiinalainen tavaranhankkijan edustaja myönsi television toimittajalle, että yhtiö myy elävistä linnuista saatuja höyheniä.

■ 語句・文法

edustaja「代表者」< edustaa／omien tutkimusten「自らの調査の」[複属]< oma tutkimus／tavaran-hankkijan「（製品）供給者の、サプライヤーの」[属]< -hankkija < hankkia／toimittajalle「レポーターへ、記者へ」[向]< toimittaja < toimittaa／elävistä linnuista「生きている鳥から」[複出]< elävä lintu（elävä 能現分 < elää）／saatuja「得られたような」[複分]< saatu 受過分 < saada／höyheniä「羽を、羽毛を」[複分]< höyhen

● フィンランド語理解のための訳例

スウェーデンの|〈テレビ局〉TV4 は|語る、|〈次の〉[ことを|イケアの|代表者は|認めた|その件を|日曜日に|会社の|自らの|調査の|後で]。TV4 は|語る、|〈次の〉[ことを|イケアの|中国の|供給業者の|代表者が|認めた|テレビの|レポーターに、|〈次の〉ことを|会社は|売る|生きている|鳥から|得られたような|羽毛を]。

◎ 意訳

スウェーデンのテレビ局 TV4 によれば、同社独自の調査後にイケアの代表者は〈生きた鳥の羽毛をむしっていたという〉その件を認めた。中国におけるイケアの供給業者の代表者はテレビのリポーターに対して、生きた鳥からむしった羽毛を販売していることを認めたと TV4 は伝えている。

【18】鳥が活着ているのか死んでいるのかは議論さえされない

Edustajan mukaan toimialalla ei edes keskustella siitä, ovatko höyhenet kuolleista vai elävistä linnuista, kertoi TV4. Viikko sitten TV4:n ajankohtaisohjelma Kalla Fakta esitti todisteita, että eläviä hanhia ja ankoja höyhennetään untuvatuotteisiin päätuottajamaissa Unkarissa, Puolassa ja Kiinassa.

■ 語句・文法

toimi-alalla「業界では」[接]<-ala/ ei keskustella「話し合われぬ」受現否 < keskustella/ edes 「さえ」/ siitä, ovatko ~「~であるかどうかについて」/ kuolleista「死んだような」[複出]< kuollut 能過分 < kuolla/ ajan-kohtais-ohjelma「時事問題番組」/ Kalla Fakta (カッラ ファクタ)『冷徹な真実』(スウェーデン語ですが kall と faktum の複数形であれば「冷たい事実」という意味になります。ただし、ノルウェー語やスウェーデン語の専門家にお聞きしたところ、kalla は「呼び覚ます」という動詞の命令形の可能性もあると教えていただきました。そうであれば「真実を呼び覚ませ」といった意味になります。その専門家のご意見では kalla fakta はこれら二つの意味をかけている可能性もあるとのこと。つまり「冷徹な真実」と「真実を呼び覚ませ」という二つの意味を含む番組名なのかもしれません。) / esittää「提示する」< esi-/ todisteita「証拠を」[複分]< todiste < todistaa < tosi/ eläviä hanhia ja ankoja「活着ているガチョウやアヒルを」[複分]< elävä hanhi ja anka/ höyhennetään「羽をむしろれる」受現 < höyhentää < höyheh/ untuva-tuotteisiin「羽毛製品へ」[複入]< -tuote < tuottaa/ pää-tuottaja-maissa「主要生産国で」[複内]< -maa

● フィンランド語理解のための訳例

代表者の|よれば|業界で|話されさえない|次に> [ついて|~であるのかどうか|羽は|死んだような|それとも|活着ているような|鳥から]、|語った|TV4 は。一週間|前に|TV4 の|時事問題番組|『冷徹な事実』は|提示した|証拠を、|次のよう> [だという|活着ている|ガチョウを|そして|アヒルを|羽をむしろれる|羽毛製品へ|主要生産国において|ハンガリーで、|ポーランドで|そして|中国で。

◎ 意訳

<イケアの>代表者によれば、羽が死んだ鳥のものなのか、あるいは生きて鳥からむしろれたものなのかについて業界では議論されることさえないということだ。一週間前に TV4 の時事問題番組『冷徹な事実』は、主要生産国であるハンガリー、ポーランド、そして中国において、羽毛製品の生産のためにガチョウやアヒルの羽を生きてまゝむしろれているという証拠を提示した。

【19】イケアは改善策を発表

Nyt Ikea tarjoaa kaikille sen untuvatuotteita viime aikoina ostaneille rahat takaisin, mutta ei aio vetää tuotteita pois kaupoista. Ikea aikoo myös ottaa käyttöön jäljitysjärjestelmän, jolla voidaan varmistaa ettei sen tuotteisiin tule elävistä linnuista otettuja höyheniä.

■ 語句・文法

kaikille sen untuva-tuotteita viime aikoina ostaneille「その羽毛製品を最近購入したすべての人々へ」(ostaneille [複向] < ostanut 能過分 < ostaa。この過去分詞は名詞「買った人」として使われています。) / ei aoi「～するつもりはない」単 3 現否 < aikoa / vetää pois kaupoista「店舗から引き上げる」(kaupoista [複出] < kauppa) / ottaa käyttöön「採用する」(käyttöön [入] < käyttö < käyttää) / jäljitys-järjestelmän「追跡システムを」[属対] < -järjestelmä (jäljitys < jälittää < jälki) / jolla「それにより」[接] < joka / varmistaa「確認する、確実にする」< varma / ettei = että ei「～でないということ」 / tuotteisiin「製品へ」[複入] < tuote / otettuja「とられたような」[複分] < otettu 受過分 < ottaa

● フィンランド語理解のための訳例

今|イケアは|提供する|すべての|その|羽毛製品を|最近|購入した人々へ|金を|もとへ、|しかし|つもりはない|引く|製品を|離れて|店から。イケアは|つもりだ|また|とる|使用へ|追跡システムを、|それにより|できる|確認する|<次> [ではないことを|その|製品へ|来る|生きている|鳥から|とられたような|羽が]。

◎ 意識

現時点でイケアは、最近自社の羽毛製品を購入したすべての人へ代金の返金を申し出ているが、ただ店舗から製品を撤去するつもりはない。イケアはまた、生きている鳥の羽毛が自社製品に使われないことを確実にできるような追跡システムを採用するつもりである。

★ 補足

イケアの羽毛問題がその後どうなっているのか、関心があれば調べてみてください。それでは次は2012年の記事へ移りますが、こちらは森林伐採の問題を取り上げています。

【20】イケアは手つかずの自然林を伐採

Viime vuosien aikana IKEA on jäänyt useaan otteeseen kiinni kirveenkoskemattomien luonnonmetsien hakkaamisesta huonekalujensa materiaaliksi erityisesti Venäjän Karjalassa. Swedwoodin rekat ovat kuljettaneet koskemattomista metsistä rekkakulkueittain puuta sohvapöytien ja ties minkä teevatien materiaaliksi.

■ 語句・文法

viime vuosien aikana「過去数年の間に、近年」 / jäädä kiinni「(犯罪などを犯して)つかまる」 / useaan otteeseen「複数回にわたり、何度も」[入] < usea ote / kirveen-koskemattomien「伐採されたことのないような(斧が触れないような)」[複属] < -koskematon (kirveen [属] < kirves、koskematon 否分 < koskea) / luonnon-metsien「自然林の」[複属] < -metsä / hakkaamisesta「伐採することについて」[出] < hakkaaminen 動名 < hakata / huone-kalujensa「(自らの)家具

の」[複属]+ 単 3 所接 < -kalu/Venäjä Karjala「ロシアのカレリア地方」(Venäjän Karjala は Itä-Karjala「東カレリア」と呼ばれることもあります) / Swedwoodin「スويدウッド社の」[属]< Swedwood (Ikeaのグループ企業で、おもに家具の製造を行っているのだと思いますが、社名の正確な発音はわかりません) / rekat「(大型)トラック」[複主]< rekka = rekka-auto / koskemattomista metsistä「手の触れられていない森林から」[複出]< koskematon metsä / rekka-kulkueittain「トラックの行列ごとに、トラックの行列をなして」(kulkueittain < kulkue「行列」。-(i)ttain/-(i)ttäin は方法や量などを表す派生接辞で、たとえば suomalaisittain「フィンランド式に」、joukoittain「グループごとに、集団をなして」などがあります。) / sohva-pöytien「ソファテーブルの」[複属]< -pöytä / ties minkä tee-vatien「それぞれティーカップの受け皿などの」(ties は日本語にするのが難しい単語ですが、「誰にもわからないことだが」とか「おそらく」といった意味合いを表し、とくに疑問詞とよく結びつきます。たとえば ties milloin「いつなのかはわからないが」、ties kuka「誰かは定かではないが」といった表現があります。tee-vatien「ティーカップの受け皿の、カップソーサーの」[複属]< -vati)

●フィンランド語理解のための訳例

ここ数年の間に|イケアは|残った|何度かにわたり|つかまって|斧の触れていないような|自然林の|伐採することについて|(自らの)家具の|材料として|とくに|ロシアの|カレリアで。スويدウッド社の|大型トラックは|運んできた|触れられていないような|森林から|トラックの行列をなして|木を|ソファテーブルの|そして|どれだとはわからないが|カップソーサーの|材料として。

◎意訳

近年イケアは自社の家具の材料として、とくにロシアのカレリア地方において手つかずの自然林を伐採していることが何度かにわたり発覚している。〈イケアのグループ企業である〉スويدウッド社のトラックが行列をなしてソファテーブルや、それぞれカップソーサーの材料などとして、手つかずの森林から木材を運び出している。

★補足

ロシアから賃借している森林が問題になっていますが、ウクライナ戦争などの影響で現在はどうかになっているのか不明です。

【21】スウェーデンの森林保護団体「森を守れ」が問題を指摘

Ruotsalainen Skydda Skogen -järjestö onkin viimeisen vuoden aikana nostanut esiin IKEA:n härskiä toimintaa. Järjestön inventoijat dokumentoivat IKEA:n Venäjän Karjalasta vuokraamien alueiden hakkuilta 500-vuotiaiden puiden runkoja, uhanalaisia lajeja ja aivan kauhistuttavaa hakkuujälkeä.

■語句・文法

Skydda Skogen -järjestö「Skydda Skogen (シュッダ スクーゲン) 組織」(スウェーデン語で「森を守

れ」という意味だと思いますが、森林保全をめざす団体のように) / nostaa esiin「取り上げる」 / härski「無節操な、恥知らずの」 / inventoija「目録作成者、森林に生息する樹木や生物などの一覧を作成する人」 < inventoida / dokumentoida「記録する」 / vuokraamien alueiden「賃借している地域の」 (vuokraamien [複属] < vuokraama 動分 < vuokrata) / hakkuilta「伐採から」 [複奪] < hakkuu < hakata / -vuotiaiden「～歳の、～年の」 [複属] < -vuotias < vuosi / runkoja「幹を」 [複分] < runko / uhan-alaisia「絶滅危惧の」 [複分] < -alainen (uhan [属] < uhka) / lajeja「種を」 [複分] < laji / kauhistuttavaa「恐ろしくさせるような」 [分] < kauhistuttava 能現分 < kauhistuttaa < kauhistua < kauhistaa < kauhea ⇒ kauhu / hakkuu-jälkiä「伐採の跡を」 [分] < -jälki

●フィンランド語理解のための訳例

スウェーデンの Skydda Skogen 組織は | 今年の | 間に | 上げた | 前へ | イケアの | 節操のない | 行動を。組織の | 目録作成者たちは | 記録した | イケアの | ロシアの | カレリアから | 賃借している | 地域の | 伐採から | 500 歳の | 木々の | 幹を、 | 絶滅危惧の | 種を | そして | まったく | 恐ろしくさせるような | 伐採の跡を。

◎意訳

スウェーデンの〈森林保護〉団体「Skydda Skogen」は昨年、イケアの恥知らずな行動を明らかにしてきた。同組織において森林の樹木や生物の一覧を作成する人たちは、ロシア領カレリアの賃借地におけるイケアの伐採について、樹齢 500 年になる木々の幹、絶滅危惧種、そして恐ろしい伐採の痕跡を記録している。

【22】スウェーデンとロシアの環境保護団体はイケアに嘘をやめるよう要求

Skydda Skogen, Ruotsin Maanystävät, Venäjän Greenpeace ja venäläinen metsiensuojelujärjestö SPOK vaativatkin IKEA:a lopettamaan arvokkaiden luonnonmetsien hakkaamisen ja kuluttajille valehtelun.

■語句・文法

Ruotsin Maan-ystävät「スウェーデン地球の友人たち」(Maan-ystävät は国際組織 Friends of Earth に属するスウェーデンの環境保護団体だと思います。) / metsien-suojelu-järjestö SPOK「森林保護組織 SPOK」(SPOK がどのような意味なのかわかりません) / arvokkaiden luonnonmetsien「貴重な自然林の」 [複属] < arvokas luonnon-metsä / hakkaamisen「伐採することを」 [属対] < hakkaaminen 動名 < hakata / valehtelun「嘘をつくことを」 [属対] < valehtelu < valehdella < vale

●フィンランド語理解のための訳例

Skydda Skogen、| スウェーデンの | 「地球の友人たち」、| ロシアの | グリーンピース | そして | ロシアの | 森林保護組織 SPOK は | 要求している | イケアに | やめるよう | 貴重な | 自然林の | 伐採することを | そして | 消費者へ | 嘘をつくことを。

◎意訳

〈スウェーデンの森林保護団体である〉「Skydda Skogen (森を守れ)」、〈国際的な環境保護団体 Friends of Earth に属する〉「スウェーデン・地球の友人たち」、ロシアの「グリーンピース」、そしてロシアの森林保護組織「SPOK」はイケアに対して、貴重な自然林の伐採を中止し、また消費者に対して嘘をつくことをやめるよう要求している。

★補足

それでは、ここで取り上げる最後の問題へ進みます Aalto が有名な腰かけをデザインしたのが 1930 年代ですが、それとそっくりな腰かけを 2014 年にイケアが販売したそうです。

【23】イケアの新作は Alvar Aalto の腰かけを思い出させる

Ikea julkisti tänään uutuustuotteitaan, joiden joukossa oleva oranssi, nelijalkainen Frosta-jakkara ei voi olla viemättä ajatuksia Alvar Aallon suunnittelemaan Artekin jakkaraan E60. Artekin oranssi jakkara on osa viime vuoden 80-vuotisjuhlamallistoa, jossa jakkarat saivat Alvar Aallon suunnitteleman Paimion parantolan värit pintaansa.

■語句・文法

julkistaa「公表する」< julkinen < julki / uutuus-tuotteitaan「(自らの)新製品を」[複分]+ 単 3 所接 < -tuote / joiden joukossa「それらの中に」(joiden [複属]< joka, joukossa [内]< joukko) / oleva「あるような」能現分 < olla / nelijalkainen「4 本脚の」 / Frosta-jakkara「Frosta 腰かけ」(Frosta はイケアの販売する腰かけの名前だと思います) / ei voi olla viemättä「連れて行かすにはいられない」(viemättä MA 不 [欠]< viedä) / suunnittelemaan「デザインしたような」[入]< suunnittelema 動分 < suunnitella / jakkaraan E60「腰かけ E60 へ」[入]< jakkara E60 (Alvar Aalto がデザインした 4 本脚の腰かけで、3 本足のものは jakkara 60) / 80-vuotis-juhla-mallistoa「80 周年記念コレクションの」[分]< -mallisto (この分格は前にある osa「一部」と結びつきます) / Paimion parantola「Paimio のサナトリウム(結核療養所)」(Alvar Aalto の設計による建築物で、現在はトウルク大学付属病院となっていますが、同建築物の中で使用されている色の一つがオレンジ色のように。parantola ⇒ parantaa, parata, parempi, paras) / pintaansa「(自らの)表面へ」[入]+ 単 3 所接 < pinta

●フィンランド語理解のための訳例

イケアは|公表した|本日|新製品を、|その|集団の中に|あるような|オレンジ色の、|4 本脚の|Frosta 腰かけは|できない|いることは|連れて行かずに|考えを|Alvar Aalto の|デザインした|Artekin の|腰かけ E60 へ。Artekin の|オレンジ色の|腰かけは|一部である|今年の|80 周年記念コレクションの、|その中で|腰かけは|得た|Alvar Aalto の|デザインした|Paimio の|サナトリウムの|色を|自らの表面に。

◎意訳

本日イケアは新製品を発表したが、その中にあるオレンジ色の「Frosta 腰かけ」は Alvar Aalto がデザインした Artek の「腰かけ E60」を思い出させずにはいられない。Artek のオレンジ色の腰かけは今年の 80 周年記念コレクションに含まれるものだが、その中で腰かけ(の座面)には、やはり Alvar Aalto が設計した Paimio のサナトリウムで使用された色が施されている。

【24】Artek の「E60 腰かけ」とイケアの「Frosta 腰かけ」はよく似ている

Ikean eilen julkaistussa tuotekuvassa näkyy oranssi Frosta-tuoli, joka muistuttaa kovasti Alvar Aallon suunnittelemaa E60-jakkaraa. Artek lanseerasi siitä oranssin version viime vuonna, Savon Sanomat huomauttaa. Moni lienee pannut muotojen samankaltaisuuden merkille jo aiemmin. Onko kyse sattumasta?

■ 語句・文法

julkaistussa「公表されたような」[内]< julkaistu 受過分 < julkaista < julki / tuote-kuvassa「製品画像の中に」[内]< -kuva / muistuttaa「思い出させる、似ている」< muistua < muistaa / lanseerasi「発売した」単 3 過 < lanseerata / siitä「それについて」[出]< se / Savon Sanomat「Savo 新聞」(フィンランド Savo 地方の都市 Kuopio で刊行されている新聞) / huomauttaa「指摘する」< huomata / lienee pannut ~ merkille「気づいたかもしれない、おそらく気づいただろう」[可]単 3 完 < panna merkille (lienee は動詞 olla の可能法現在 3 人称単数の形で、pannut という能動過去分詞と結びついて可能法の完了形を作っています。) / panna merkille「気づく」(merkille [向] < merkki) / saman-kaltaisuuden「似ていることを / に、同様であることを / に」[属対] < -kaltaisuus < -kaltainen / aiemmin「以前に」 / sattumasta「偶然について」[出] < sattuma < sattua

● フィンランド語理解のための訳例

イケアの|昨日|公表されたような|製品画像の中に|見える|オレンジ色の|Frosta 腰かけが、|それは|思い出させる|非常に|Alvar Aalto の|デザインしたような|e60 腰かけを。Artek は|販売し始めた|それについて|オレンジ色の|バージョンを|昨年、|Savo 新聞は|指摘する。多くの人々は|おそらく気づいただろう|形の|似ていることに|すでに|以前に。だろうか|問題は|偶然について。

◎意訳

昨日発表されたイケアの製品画像の中にはオレンジ色の「Frosta 腰かけ」が含まれているが、それは Alvar Aalto がデザインした「E60 腰かけ」を彷彿とさせる。「E60 腰かけ」について、Artek は昨年オレンジ色のバージョンを売り出したと『Savo 新聞』は指摘している。多くの人々はすでに以前にも、<Artek の「E60 腰かけ」とイケアの「Frosta 腰かけ」との>形状が似ていることに気づいていたのではないだろうか。ここで問題となるのは単なる偶然なのだろうか。

★補足

イケアの腰かけが Aalto がデザインした Artek の腰かけに酷似しているという問題について、イケ

ア側の説明を見ていきます。

【25】イケアによれば「自社の腰かけについてとくに反応はない」

Ikean viestinnän ammattilainen Annika Stubbe sanoo, ettei jakkarasta ole tullut palautetta.

–Frosta on kuulunut mallistoomme jo vuosia, ja myös Bråkig-mallistossa meillä on myynnissä vastaavalla muotokielellä oleva jakkara pastellin sävyissä.

■ 語句・文法

viestinnän「コミュニケーションの、広報の」[属] < viestintä < viestiä < viesti / ettei = että ei「～ではないと」 / palautetta「反応は、評価は、フィードバックは」[分] < palaute < palauttaa < palata / mallistoomme「我々のコレクションへ」[入]+ 複 1 所接 < mallisto / vuosia「何年間も」[複分] < vuosi / Bråkig-mallisto「Bråkig シリーズ、Bråkig コレクション」(イケアがデンマークの創作集団と共同で開発した商品群で家具や磁器などを含むようです。) / myynnissä「販売されて」[内] < myynti < myydä / vastaavalla muoto-kielellä oleva「同様のデザインであるような、相当するような形状言語であるような」(vastaavalla [接] < vastaava 能現分 < vastata, oleva 能現分 < olla) / pastellin sävyissä「パステル調の色合いの」(sävyissä [複内] < sävy「色合い、色調」)

● フィンランド語理解のための訳例

イケアの|コミュニケーションの|専門家|Annika Stubbe は|語る、|[ではないと|腰かけについて|来ている|反応は]。

—Frosta は|属している|我々のコレクションへ|すでに|何年間も、|そして|また|Bråkig シリーズの中に|我々には|ある|販売されて|同様の|形状言語で|あるような|腰かけが|パステルの|色調で。

◎ 意訳

イケアの広報担当の Annika Stubbe は〈問題となっているイケアの Forsta〉腰かけについては、とくに反応は届いていないと話す。

—Frosta はすでに何年もの間、我々のコレクションに含まれてきたものであり、また Bråkig シリーズの中でも同様のデザインの腰かけがパステル調の色合いで販売されている。

【26】イケアによれば「Frosta 腰かけ」は以前から販売されてきている

Frosta-jakkaraa on myyty Suomessa vuodesta 1996 lähtien, kertoo Annika Stubbe Ikean viestinnästä. Oranssi versio kuului alun perin eilen julkaistuun mallistoon, jonka suunnittelu alkoi vuonna 2010. Se tulee myyntiin myöhemmin keväällä.

■ 語句・文法

on myyty「売られてきた」受完 < myydä / lähtien「～以来」+[出] / alun perin「もともとは、そもそも」(alun [属] < alku)

●フィンランド語理解のための訳例

Frosta 腰かけを|売られてきた|フィンランドで|1996 年以来、|語る|Annika Stubbe は|イケアの|コミュニケーション担当から。オレンジ色の|バージョンは|含まれていた|もともとは|昨日|公表されたような|コレクションへ、|その|デザインは|始まった|2010 年に。それは|来る|販売へ|後に|春に。

◎意訳

「Frosta 腰かけ」はフィンランドでは 1996 年以來販売されていると、イケア社の広報担当である Annika Stubbe は話している。オレンジ色のバージョンは、そもそもは昨日発表されたコレクションに含まれているもので、そのデザインは 2010 年に始まった。それは春以降に販売されることになる。

★補足

今度は、この問題に対する Artek 側の反応を見ていきます。

【27】Artek は自社製品とイケアの腰かけが酷似していることは認識している

Artekin viestinnästä vastataan tuolikopioon näin:

"Olemme tietoisia Ikean uuden tuolin yhtäläisyyksistä Artekin jakkaraan. Me haluamme kertoa kuluttajalle, että Artek on aito ja alkuperäinen. Me huolehdimme siitä, että se voi hyvin ja sen laatu säilyy. "

■語句・文法

vastataan「回答される」受現 < vastata / tuoli-kopioon「椅子のコピーに対して」[入]< -kopio / tietoisia「認識して」[複分]< tietoinen < tieto < tietää / yhtäläisyyksistä「似通っていることについて」[複出]< yhtäläisyys < yhtäläinen < yksi / aito「本物の、真正な」 / alkuperäinen「本来の、オリジナルの」 / huolehtia「配慮する、気をつける、注意しておく」 / siitä, että ~「~であることについて」(siitä [出]< se) / voida hyvin「元気である、健全である」 / säilyä「維持される」

●フィンランド語理解のための訳例

Artek の|広報から|回答される|椅子のコピーに対して|このように:

「我々は認識している|イケアの|新しい|椅子の|似通っていることについて|Artek の|腰かけへ。我々は|望む|語る|消費者へ、|<次の> [ことを|Artek は|である|本物で|そして|オリジナルで]。我々は|気をつける|<次の> [ことについて|それは|元気である|そして|その|質は|維持される]。」

◎意訳

〈イケア社の〉椅子のコピーに対して Artek の広報は次のように回答している:

「イケアの新しい椅子が Artek の腰かけに似通っている点について我々は承知している。我々は、Artek こそが真正でオリジナルであることを消費者へ伝えたいと思う。我々は Artek の腰かけがよい状態で、その品質が保たれることに注意をしていきたい。」

【28】Artek によれば、議論するには遅すぎるかもしれない

Artek ei ole käynyt muotoilua koskevaa vuoropuhelua Ikean kanssa aiemmin, eikä aio tehdä asialle mitään nytäkään.

Muotojen lainaamisesta olisikin voinut olla aiheellista puhua enemmän silloin, kun Ikea ensimmäistä kertaa toi Frostan markkinoille, Artekin toimitusjohtaja Mirkku Kullberg toteaa Taloussanomille. Nyt kun aikaa on vierähtänyt niin paljon, asiaan olisi hyvin vaikea puuttua juridisesti.

■ 語句・文法

käydä vuoro-puhelua「対話を行う、話し合いを行う」(käydä keskustelua「議論する」や käydä sotaa「戦争をする」などのように käydä は分格の目的語をしたがえ「行う」といった意味で使われることがあります) / muotoilua koskevaa「デザインにかかわるような」(koskevaa[分]< koskeva 能現分 < koskea) / eikä = ja ei「そして～ない」 / lainaamisesta「借りることについて、借用することについて」[出]< lainaaminen 動名 < lainata / olisi voinut「であったであろうが、である可能性があったのだが」[条]完単 3 < voida / aiheellista「妥当で、正当で、適切で」[分]< aiheellinen < aihe / silloin, kun ~「～のときに」 / toimitus-johtaja「最高経営責任者」 / toteaa「話す」単 3 現 < todeta < tosi / Talous-sanomille「Talous 新聞へ、経済新聞へ」(Talous-sanomat はフィンランド最大のネット上の経済紙) / vierähtää「転がる、こぼれる、過ぎる」< vierä / puuttua「介入する」 / juridisesti「法的に」[複]< juridinen

● フィンランド語理解のための訳例

Artek は |行っていない| デザインに |かかわるような| 対話を |イケアの| と一緒に |以前に、| そして ~ない | つもりである | する | その件へ | 何も | 今も。

形態の | 借用することについて | ありえただろう | 適切である | 話す | もっと多く | <次の> [ときに | イケアが | 最初に | もってきた | Frosta を | 市場へ]、| Artek の | 最高経営責任者 | Mirkku Kullberg は | 話す | Talous 新聞へ。今 | <次の> [ときに | 時間が | 過ぎ去った | とても | たくさん]、| その件へ | だろう | とても | 難しい | 介入することは | 法的に。

◎ 意訳

Artek はこれまでデザインにかかわるような話し合いをイケアとは行っておらず、また現時点でも事態に対して何もするつもりはない。

形態(デザイン)を借用することについては、イケアがはじめて Frosta を市場に持ち込んだ際に話すのが妥当であったろう、と Artek の最高経営責任者である Mirkku Kullberg は『Talous 新聞』に語っている。あまりにも多くの時間が過ぎ去ってしまった今では、事態に対して法的に対処することは非常に難しいだろう<とのことである>。

【29】しかし著作権については闘わなければならないはずだ

Tekijänoikeuksien puolesta pitää Kullbergin mielestä silti taistella.

- Ei tämä voi olla tällaista. Ihmiset kehittävät elämäntyönään uusia tekniikoita, muotoa ja ajattelua. Tietyllä tavalla he menettävät oikeutensa siihen muotoon, ja se sekoittuu ihmisten mielessä, Kullberg sanoo.

Sekoittumisesta saatiin esimerkki joitakin vuosia sitten näyttelyssä Tukholmassa. Moni ruotsalainen hämmästyi siitä, että Ikea-jakkaran näköinen tuoli oli suunniteltu jo 1930-luvulla.

■ 語句・文法

tekijän-oikeuksien「著作権の」[複属]<-oikeus/puolesta「側から、擁護して、賛成して」[出]<puoli/Kullbergin mielestä「Kullberg の考えでは」(mielestä [出]<mieli) /silti「それでも」<se/taistella「闘う」/elämän-työnään「(自らの) 人生の仕事して、ライフワークとして」[様]+ 複 3 所接 <-työ/tekniikoita「技能を、技術を」[複分]<tekniikka/tietyllä tavalla「ある(特定の)方法で」[接]<tietyt tapa (tietyt <tietää) /menettää「失う」<mennä/oikeutensa「(自らの)権利を」[複主対]+ 複 3 所接 <oikeus/siihen muotoon「その形へ、そのデザインに対して」[入]<se muoto/sekoittua「混ざる、混乱する」<sekoittaa ⇒ sekaisin/sekoittumisesta「混ざることについて、混乱することについて」[出]<sekoittuminen 動名 <sekoittua/saatiin「手に入れられた」受過 <saada/joitakin vuosia sitten「何年か前に」(joitakin vuosia [複分]<jokin vuosi) /näyttelyssä「展示において」[内]<näyttely <näytellä <näyttää <näkyä/hämmästyä「驚く、困惑する」(+ [出]) /siitä, että ~「~であることについて」/näköinen「~の見かけをしたような」/oli suunniteltu「デザインされていた」受過完 <suunnitella

● フィンランド語理解のための訳例

著作権の|側から|すべきだ|Kullberg の|意見では|それでも|闘う。

—これは|できない|である|このような。人々は|開発する|(自らの) 人生の仕事として|新しい|技術を、|形を|そして|考え方を。何らかの|方法で|彼らは|失う|(自らの) 権利を|その|形へ、|そして|それは|混ざる|人々の|心の中で、|Kullberg は|いう。

混ざることについて|得られた|例が|何年か|前に|展示において|ストックホルムにおいて。多くの|スウェーデン人は|困惑した|<次の> [ことについて|イケアの腰かけの|見かけをした|椅子が|デザインされていた|すでに|1930 年代に。

◎ 意訳

Kullberg の考えによれば、それでも著作権を擁護するために闘わなければならない。

—この問題はこのようなであってはならない。〈なぜなら〉人々は人生の仕事として新たな技術、形、そして考え方を開発するのだから。ある意味で彼らはそのようなく自らが開発した「形」に対する自らの権利を失うのであり、それは人々の心の中で〈他のものと〉混同されてしまうのである、と Kullberg はいう。

〈そのように〉「混同されてしまうこと」については、数年前にストックホルムにおける展覧会で〈格好の〉例が手に入っている。というのも、多くのスウェーデン人はイケアの腰かけのように見える椅子がすでに 1930 年代には〈フィンランドの Alvar Aalto によって〉デザインされていたことを知り困惑したのである。

★補足

そもそも Alvar Aalto がデザインしたものが、多くのスウェーデン人の頭の中では「イケア」の製品として認識されてしまっているという「混同」については、スウェーデンの人々を責めるわけにもいかないでしょう。ただし、だからといって何もしないでよいのか、という疑問は残ります。結局のところ「デザイン」とは「形」や「色」のことなのか、それとも何かそれ以上のものなのか、という問題に行きつくような気がします。

【30】デザインについては、材料や製造方法にも目を向ける必要がある

Kopioinnin osoittaminen on joka tapauksessa muotoilussa hyvin vaikeaa. Pitää huomioida myös materiaalit, valmistustapa ja monta muuta asiaa.

■語句・文法

kopioinnin「コピーすることの」[属]<kopiointi <kopioida <kopio/osoittaminen「示すことは」動名 <osoittaa/joka tapauksessa「いずれにしても」/huomioida「注目する、考慮に入れる」<huomio ⇒ huomata/valmistus-tapa「製造方法に」[主対]

●フィンランド語理解のための訳例

コピーすることの|示すことは|である|いずれにしても|デザインにおいて|とても|難しい。しなければならぬ|注目する|また|材料に、|製造方法に|そして|多くの|他の|事柄に。

◎意訳

〈何か他のものの〉コピーであると示すことは、デザインにおいてはいずれにしても非常に難しいことだ。〈見た目の形だけではなく〉材料、製造方法、そしてほかの多くの事柄にも注意を向けなければならない。

★補足

今回の資料を作成しようと思いついたのは 2023 年の初めだったと思いますが、その際に「ジェネリック製品」「ジェネリック家具」などというものがあることをはじめて知りました。ジェネリック薬品と同じだと思いますが、特許期間が過ぎた後で、もとのデザインそのままに製造されるような製品や家具のことを意味するようです。ただ、今回話題にしたイケアの腰かけが、このジェネリック製品かどうかはわかりません（新聞記事を見る限りでは、特許権の切れたデザインを使用したという話は出てこないの、ジェネリック製品とは考えられていないようですが）。

さて、【30】にもあるように、家具デザインについては見た目だけではなく材料や製造方法など多

くのことに目を向けなければならないようです。Artek の腰かけとイケアの腰かけについて、まさに材料や製造方法といった観点から比較をしたという記事がありますので、次回の資料ではその記事を中心に読み進めます。

◆出展

【1】:

Hottinen-Puukko, Heli. 2015. *Suomen talvi*. Suomalaisen kirjallisuuden seura. 150 ページ.

【2】【3】:

”Tarinamme”. *artek*.

artek. <<https://www.artek.fi/fi/yritys>> から > yritys > tarinamme へ進む

<<https://www.artek.fi/fi/yritys/tarinamme#:~:text=Taidetta%20ja%20teknologiaa%20vuodesta%201935,ja%20muulla%20tavoin%20nykyaikaista%20asuntokulttuuria%22.>>>

【4】【5】【6】【7】【10】【11】【12】【13】【14】【15】:

Löytömäki, Simo. 2023. ”Ammattilaiset Ikeassa: Mitä Ikeasta kannattaisi ostaa, mitä ei? HS vei tavarataloon kaksi huonekaluasiantuntijaa. Nyt he kertovat, millaisiin yksityiskohtiin kuluttajan kannattaa kiinnittää huomiota, jos mielihalvalla hyvää”. *Helsingin Sanomat* (8.4.2023).

<<https://www.hs.fi/koti/art-2000009452974.html>>

【8】【9】:

Järvinen, Katariina. 2022. ”Tämä kirurgisen tarkka operaatio alkaa aamuneljältä – HS selvitti, mitä tapahtuu Ikean kulisissa”. *Helsingin Sanomat* (16.8.2022).

<<https://www.hs.fi/kaupunki/vantaa/art-2000008984072.html>>

【16】【17】【18】【19】:

”Ikea myöntää elävien lintujen höyhennyksen”. *yle* (8.2.2009).

<<https://yle.fi/a/3-5721512>>

【20】【21】【22】:

Jalkanen, Tiina. 2012. ”IKEA hakkaa ikimetsiä Karjalassa”. *Luonto-Liiton metsäblogi*.

<<https://metsablogi.wordpress.com/2012/12/13/ikea-hakkaa-ikimetsia-karjalassa/>>

【23】【25】【27】:

Väisänen, Soili. 2014. ”Sehän on Aallon jakkara-ei kun Ikean!”. *Savon sanomat* (14.3.2014).

<<https://www.savonsanomat.fi/paikalliset/3252091>>

【24】【26】【28】【29】【30】:

Manninen, Laura. 2014. ”Artek Ikea-jakkarasta: ”Toivon että ihmiset äänestävät jaloillaan””. *Iltta=Sanomat* (14.3.2014).

<<https://www.is.fi/taloussanomat/yritykset/art-2000001829698.html>>